

留学生レポート

大切な留学

日本語課程 日本文化 研修留学生

Asypbaeva Asel Nuradinovna

アスイプバエワ アセーリ

from Kyrgyz

ん違うところが山ほどあって、うまくいかないことも悩むこともたくさんありました。奈良教育大学には今までキルギスから留学生がいなかったと聞き緊張しました。奈良ではキルギスのことが全く知られていなくて私がキルギスの全てを代表するようになったからです。しかし日本人の友達が「キルギスの文化がおもしろい」、「キルギスの料理がおいしい」と褒めてくれたり、また来年キルギスを訪れる約束をしてくれたりしたので言葉では表せないほどうれしかったです。奈良は思ったよりずっときれいで、人も親切でその雰囲気親子しめる町となり、二番目の故郷のようにになりました。また奈良教育大学は本当に母のようになりました。大学の皆さんがとても親切にしてくれて心から感謝いたします。留学のいい思い出を心の中で大事に守ってキルギスの皆さんにぜひ伝えようと思っています。

着物の着付け

日本留学というチャンスに恵まれて、わたしは人生のとても大事な階段を登り始めています。初めての外国で一人暮らしをして、自分の行動に自分で責任を持たなくてはならなかったからです。また、日本にきて、外国では人間関係を作るのが難しいということも分かりました。日本の文化や生活を味わう中で、自分の国のことを以前よりよく考えるようになって、もつと大事にするようになりました。もちろん



留学生レポート

私の卒業研究

総合教育課程 環境教育コース 4回生
ジョカ
徐華

from China

私の専攻は環境教育コースの中の自然誌です。卒業研究として、紀伊半島南部におけるユビナガコウモリの季節的な移動の調査をやっています。ユビナガコウモリは幅が狭いが相対的に長い翼を持ついわゆる「狭長型」コウモリです。このようなコウモリ類は一般的に長距離を高速で持続的に飛翔できるコウモリ類といわれて、季節によっていくつかの洞窟間で定期的な移動をしていると考えられています。これまでの自分の調査過程で直線距離二百キロメートルを越える移動例があります。現在、その移動パターンを明らかにするために頑張っています。

みなさんはコウモリに対して、あまり好感を持っていないでしょうか？ 実際には、コウモリに関する知識をちよつと勉強して、実物を見ると、想像していたときと違い以外とおとなしくて可愛いと思っています。私は三回生からコウモリを研究することに決めました。初めはコウモリに対して何も知りませんでした。研究室に入ってから、「コウモリ博士」と呼ばれているM先生からコウモリのことを聞いたり、コウモリの本を読んだり、標本を見たり、コウモリ調査を手伝ったりしているうちに、こうもりに深い興味を持つようになっていました。現在、不思議なコウモリの世界に、完全魅了されてしまいました。卒業まであと半年残っています。この間、もつと頑張つて、充実した留学生生活を過ごしたいと思います。留学四年間から得るものは将来とても貴重な経験になるはずと信じています。また、支えてくれる人たちに心から感謝しています。



白毛のユビナガコウモリ(異変)